



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 21 年 4 月 11 日(土)
防火・防災シンポジウム 編

第一次能代大火(昭和 24 年 2 月 20 日)から 60 年目を迎え、現在の防火・防災を考えるシンポジウムが「能代地区幼年婦人防火委員会」の主催で能代山本広域交流センターにて開催されました。

能代市は、第一次大火及び第二次大火(昭和 31 年 3 月 20 日)と2度の大火を経験し、その経験や教訓を防火・防災に生かしたまちづくりを進めてきましたが、第一次大火から 60 年という年月が経過し、その記憶や教訓も風化しつつあることから、大火の悲惨さや教訓を再確認し、現在の防火・防災の現況を広く市民に示す場として「春の火災予防週間」中に開催されたもので、能代市でのシンポジウムは初めてのものでした。

日沼消防長の挨拶から始まり、講演は「のしろ白神NW」の事務局としていつも面倒をみていただいております木材高度加工研究所が誇る、准教授・渡辺千明先生で「地域協働ですすめる安心・安全のまちづくり」と題するものでした。度々、先生の講演はお聞きしておりますが、今回は防災中心のもので、自助共助の大切さを学び、どこよりも早くやってくる秋田県の高齢社会、市民主体の防災まちづくりに納得！特に学校と連携した取り組み「防災運動会」は興味深いものでした。そして、改めて先生の研究成果を私達は直接学び吸収できる幸せを実感し感謝の気持ちでいっぱいになりました。みんなで一緒に賢い市民になりましょうね～ (^)♪

講演後大火の写真が上映され、二ツ井消防署の相澤さんの袴姿の弁士が大うけでした (*^。^*)。大火後の風景はまるで戦争の焼け跡のように無残で、悲惨なものでした。ここから2度も復興した能代市民は本当に偉いと痛感！

その後、北羽新報の編集局長八代氏がコーディネーターとなりパネルディスカッション。私は人生初のパネリスト！ドキドキの1時間半を冷や汗をかきながら終了。修行の半日が終わりました。渡辺先生のように永久になれそうもありませんが精進したいと思います。

文： 能登 祐子



カッコ良い制服姿の日沼消防長の挨拶の後、1時間の基調講演がありました。



2 度にわたる大火のようすが「防火亭消火さん」の講談で記録写真とともに紹介されました。



これからの能代の防災をどうしていけばよいのか、ディスカッションがなされました。